

第8回教育研究審議会

議事概要

開催日：平成24年7月25日（水）

場 所：本部棟3階大会議室

出席者：加藤祐三学長、高田理孝副学長、福田誠治副学長、椎廣行事務局長、大平栄子学長補佐
清水雅彦学長補佐、田中昌弥学長補佐、阿毛久芳大学院研究科委員長、鶴田清司初等教育学科長
新保祐司国文学科長、儀部直樹英文学科長、進藤兵社会学科長、大辻千恵子比較文化学科長
杉本光司地域交流研究センター長、小林正人学生課長、重原達也総務課長

欠席者：田中一利理事、稲垣孝博外国語教育研究センター長

■挨拶

加藤祐三学長よりあいさつ

議 事

(1) 平成24年度非常勤講師の授業担当科目の更新について（第11回）

○担当より説明、審議の結果、提案通り承認。

- ・国文学科専任教員の事情により非常勤講師の先生に授業を持ち替える。国語学基礎演習Dに関しては、他に適任者が見つからないため曜日等の関係で1日4コマを超えてしまうが、該当の先生にお願いすることになった。

(2) 平成24年度非常勤講師の授業担当科目の更新について（第12回）

○担当より説明、審議の結果、提案通り承認。

- ・担当教員の本務校決定のため科目の持ち替え。

(3) 平成24年度非常勤講師採用(国文学科：国語学概論A、日本文法A)の発議・提案について

○担当より説明、審議の結果、提案通り承認。

(4) 教育方法学の採用人事について(初等教育学科)

○担当より説明、審議の結果、今回は中間報告とし次回以降の教育研究審議会にて該当教員の教育方法学に関する業績を提出。

(5) プロジェクトDの中間報告について

○担当より国際交流センター（素案）について、地域交流研究センターにおける将来構想についての報告、どちらも継続審議とし、センター規定等の整備をして次回以降に改めて提案を行う。

【国際交流センター】

- ・外国語教育研究センターを改組し、留学・国際交流部門と外国語教育研究部門を統合し、そこに日本語教育部門を新たに加えて三部門で構成する国際交流センターを新設する。

日本語教育とその業務を全学的なものとして再編成し、本学の教育力を高め国際交流を推進するために、新たに日本語教育を担当する特任教員 B を 1 名採用する。

- ・日本語教育の委員会を作るかは検討中である。また最終的には 1 つの委員会で動かして部門会議（外国語教育研究部門、日本語教育部門、留学・交際交流部門）を行う形を考えている。

【地域交流研究センター】

- ・地域交流研究センターが出来て今年度で 10 年目となる。

センターを取り巻く環境は厳しい状況が続いており、常駐職員は有期雇用職員 1 名の体制であり専任職員は学生課長補佐との兼任で、予算執行や業務運用の面においても大きな問題を残している。また平成 22 年度に実施された大学基準協会における本学に対する大学評価の「社会貢献」の部分においても『活動内容に見合ったスタッフ、体制の拡充が課題となっている』との指摘を受けている。

- ・センター活動に必要とされるスペースの確保として、コミュニケーションホール地下 1 階の全フロア面積程度は必要と考えるが、騒音問題等（部活・サークル活動での楽器音）に対する緊急対応的な意味もあり、まずは現行スペースからの移転を希望する。

(6) 文科省の大学改革実行プランについて

- 担当より分担部分（研究システムと教育環境の問題を中心に）のまとめを報告。